

教員名	浜口 順子 (HAMAGUCHI Junko)
所 属	生活科学部人間生活学科発達臨床心理学講座
学 位	博士 (人文科学、お茶の水女子大学、2005)
職 名	助教授
URL/E-mail	hamaguti@cc.ocha.ac.jp

## ◆研究キーワード

保育 / 実践研究 / 大人性

## ◆主要業績

総数 (1) 件

・「育ち」という言葉と保育者の経験 幼児の教育 104-10、フレーベル館 (2005) 18-24

## ◆研究内容

お茶の水女子大学に4月から赴任したため、同大学における保育学関連のカリキュラム、授業内容の構造化、教員養成課程（とくに幼稚園養成課程）の編成について検討、改革案作成をおこなった。また、女性のキャリア、リーダーシップを視野に入れた、本大学独自の、子ども専門家・保育士資格養成に関してプログラムを作成、平成18年以降の特別教育研究費研究に向けて、プロジェクトを企画した。

## ◆教育内容

【学部】保育学、子ども学、保育史、幼児教育理論、現代子ども思想等の視点から、実践的保育者となるための内容を盛り込んだ授業を目指した。「児童学概論」「保育学」「保育課程論」「人間関係学」など。

### 【大学院】

保育実践者の思考方法、行動規範、省察的カリキュラム・評価について、現象学的方法、解釈学的方法などの文献をとおして、ディスカッションした。「保育基礎論」「保育方法論」など。

## ◆将来の研究計画・研究の展望

---

平成 18 年度以降、特別教育研究費研究「幼保の発達を見通したカリキュラム開発」（平成 21 年度まで）および科研費萌芽研究「次世代育成コミュニティとしての大学における乳幼児保育施設の意義と可能性の探求」（平成 20 年度）を中心に、大学・附属幼稚園・附属保育所の共同的研究体制を組織化して、学生の育成と附属園における保育の質の向上の有機的相互展開を図る。

## ◆受験生等へのメッセージ

---

幼稚園・保育所などの先生や親になるためだけに、保育を学ぶではありません。子どもから、実際の保育現場から学ぶことが、どんな方面で将来活躍するにしても、かならず生きてくるはずです。大人になってから、子どもと遊び、大人になるとはどういうことかと考えることが、現代において特に必要だと思います。